

政策分野等	2 健康・福祉	更新日	令和7年6月2日
施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保	担当部	市民病院
基本的な方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。		

施策を構成する事業						
番号	事業名	7年度 事業区分	事業費（千円）		事業点検 評価	担当課
			6年度 （決算）	7年度 （予算）		
1	中期経営計画の推進	継続	24,807,979	24,263,801	○	管理課
2	高度医療機器の充実	継続	(446,165)	(440,000)	◎	管理課
3	医師及び看護師等の確保・充実	継続	(105,950)	(102,340)	◎	管理課
4	救急医療体制	継続	(958,433)	(1,101,560)	○	医事課
5	地域医療連携	継続	(1,230)	(1,850)	◎	医療連携室
事業費合計			24,807,979	24,263,801		

関連する 総合計画 成果指標	指標名	直近値（年度）	目標
	急病時の対応やかかりつけ医などの医療体制に安心している人の割合（％）	58.1 (2021 年度)	70.0 (2026 年度)

総合計画成果指標や施策を構成する事業の成果に基づく効果検証			
効果 (進捗状況)	○	◎：期待する又は期待以上の成果があった ○：現状維持 △：期待する成果がなかった	
理由 (主な成果 や課題を踏 まえた効果 検証等)	高額医療機器や医師・職員数を充足させるとともに、救急科専門医の資格取得や職員への研修等を実施し、医療職員のスキルアップを図った。 紹介患者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に減少したものの令和3年度以降は回復基調となり、引き続き地域医療支援病院の承認を受けている。また、救命救急センターの指定にかかる充実段階評価は引き続きA評価を得ることができ、地域の基幹病院としての体制も整えられている。 令和6年度の経常収支は997,438千円の損失となり、2年連続の赤字となった。これは、医業収益の増加分を人事院勧告に基づく給与改定による人件費等の医業費用の増加分が上回ったことによるもので、経常赤字の拡大により、令和6年度末の未処理欠損金は、約24億4,000万円（計画値約13億3,900万円）となった。 コロナ禍前の患者数に戻っていない上、物価高や人件費の増加が顕著であり、診療報酬で費用を十分に賄い切れていない状況がある。公立病院を取り巻く経営状況は厳しさを増しているが、引き続き地域の医療機関との連携強化に努め、患者数を増加させるとともに赤字の縮減を図る。		
今後の 方向性 (課題解決 の方策等)	施策の取組方針	◎	◎重点・強化 ○維持 △縮小
	令和4年度に策定した、第3次春日井市民病院中期経営計画に掲げた具体的取組を実施できているか検証する。 第2診療棟や令和5年度に導入した手術支援ロボットの運用、心疾患患者の診療機能やがん治療など地域の医療ニーズに即した医療提供体制を充実させることなどにより、質の高い専門医療の充実を図るとともに、引き続き地域医療連携の強化に努める。		

関連する附属機関の意見等
今後の患者の受診動向を注視し、病床利用率の向上及び病床規模の最適化を図り、経常収支の黒字転換を目指していただきたい。

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和7年度		整理番号	2-1-2-1
事業名	中期経営計画の推進				最終更新日	令和7年6月2日
実施根拠	春日井市病院事業の設置等に関する条例 持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン				担当課	管理課
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関	春日井市民病院事業評価委員会		
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供する。					
	【事業概要】 地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、春日井市民病院が基幹病院として果たすべき役割を明確にするとともに、具体的取組や数値目標を定め、健全経営と医療の質の向上を図る。					
	事業期間	令和5年度～令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	令和4年度	第2診療棟の開設、新型コロナウイルス感染症対応、ISO15189の認定取得 第3次春日井市民病院中期経営計画を策定 計画期間：令和5年度～令和9年度 重点取組：心疾患患者の診療機能の充実、がん治療の充実、医療情報セキュリティの強化、勤務環境の改善、医療スタッフの質の向上など				
	令和5年度	心臓病センターの整備 手術支援ロボット「Hugo」の導入 医療情報セキュリティの強化（医療情報バックアップ体制構築）				
事業費	事業費		7年度(予算)	6年度(決算)	5年度(決算)	4年度(決算)
			24,263,801千円	24,807,979千円	22,185,972千円	21,682,744千円
	特定財源	国・県支出金	22,881千円	60,810千円	228,252千円	1,856,594千円
		その他	1,621,678千円	1,601,442千円	1,563,032千円	1,526,065千円
	一般財源		22,619,242千円	23,145,727千円	20,394,688千円	18,300,085千円

6年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) ○手術支援ロボットの運用 令和6年4月17日に手術支援ロボット「Hugo」を用いた一例目の前立腺がんの手術を泌尿器科医師が実施した。産婦人科、外科でもロボット手術を実施し、令和6年度実績は合計124例となった。 ○心臓病センターの開設 増加が予想される心疾患に対応するため、外来診療、検査及びリハビリテーション機能を集約した「心臓病センター」を令和6年5月に開設した。 ○医療情報セキュリティの強化 前年度に医療情報のバックアップ体制を構築したが、令和6年度は、ランサムウェア等の侵入を検知するシステムを導入し、サイバー攻撃への対策をさらに強化した。					
成果指標	指標名		目標値（年度）	6年度	5年度	4年度
これまでの 取組みによる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	判断理由 令和6年度の経常収支は、997,438千円の赤字となった。これは、患者数が減少し、医業収益が伸び悩み、人事院勧告による給与改定に伴い給与費が増加したことなどによるものである。これにより、令和6年度末時点の未処理欠損金は約24億4,000万円（計画値約13億3,900万円）となった。			
			課題 延入院患者数は、前年から約6,600人減少している。また、人件費や原材料費などの上昇は直ちに診療報酬に反映されないため、収支を均衡以上にするためには、患者数の増加が必須となることから、いかに患者数を増加させ収益を確保していくかが課題となる。			
◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし						
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 第3次春日井市民病院中期経営計画に掲げた具体的取組が実施できているか検証し、経営の健全化を図る。 具体的には、地域の基幹病院として急性期医療の更なる充実と、地域の医療ニーズを的確に捉え、需要のある医療の提供体制を整備するとともに、引き続き地域の医療機関との連携・関係構築を進めることにより、地域の医療機関からの紹介患者を増やし、収益の増加を目指す。					
7年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	災害時やサイバー攻撃に備えた業務継続計画の策定など、第3次春日井市民病院中期経営計画に掲げた具体的取組を推進し、経営の健全化を図る。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和7年度		整理番号	2-1-2-2
事業名	高度医療機器の充実				最終更新日	令和7年6月2日
実施根拠	春日井市病院事業の設置等に関する条例				担当課	管理課
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関		春日井市民病院事業評価委員会	
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 最新の技術を擁する医療機器を充実し、より精密で安全な検査、治療等を実施することにより、地域の医療水準を向上させるという基幹病院としての重要な役割を果たす。 また、開業医との機能分担と連携が重要となっており、医療機器の効率的な利用を図り、開業医からの検査、治療等の依頼にも適切に対応する。					
	【事業概要】 計画的に医療機器の更新、購入を行う。					
	事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	今までの具体的な取組み					
	令和元年度	磁気共鳴画像診断装置の更新 など				
	令和2年度	生化学自動分析装置、人工心肺装置の更新、検体搬送システムの導入 など				
	令和3年度	第2診療棟に設置の医療機器（血管撮影装置、手術室映像システムなど）の調達。 血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置の更新 など				
	令和4年度	ウォッシャーディスインフェクター、臨床用ポリグラフ、白内障手術装置、超音波画像診断装置、高圧蒸気滅菌器の更新 など 第3次春日井市民病院中期経営計画の策定に伴い、高額医療機器の更新計画を更新				
	令和5年度	手術支援ロボットの導入、磁気共鳴画像診断装置、超音波画像診断装置の更新 など				
事業費	事業費		7年度(予算)	6年度(決算)	5年度(決算)	4年度(決算)
			440,000千円	446,165千円	724,878千円	422,669千円
	特定財源	国・県支出金	2,676千円	34,313千円	0千円	2,676千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源		437,324千円	411,852千円	724,878千円	419,993千円

6年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	高圧蒸気滅菌器、コンピュータ断層撮影装置、放射線治療計画装置、多項目自動血球分析装置の更新など					
成果指標	指標名		目標値（年度）	6年度	5年度	4年度
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	・地域の基幹病院として高度な医療を提供するため、救急部に新たなコンピュータ断層撮影装置を設置。 ・第3次春日井市民病院中期経営計画における医療機器更新計画を基本に、順次医療機器の更新が行われている。			
	◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし					
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 第3次春日井市民病院中期経営計画における医療機器更新計画を基本に、その時の医療ニーズに柔軟に対応しながら計画的に医療機器を更新する。					
7年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	人工関節置換術ロボティックアーム手術支援システム、超広角走査型レーザー検眼鏡の導入、フラットディテクタ搭載泌尿器専用 X 線 TV 装置、術中ナビゲーションシステムの更新 など				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和7年度	整理番号	2-1-2-3	
事業名	医師及び看護師等の確保・充実			最終更新日	令和7年6月2日	
実施根拠	春日井市病院事業の設置等に関する条例 春日井市看護修学資金貸与条例			担当課	管理課	
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関	春日井市民病院事業評価委員会		
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 基幹病院として、市民が適切な医療サービスを継続して安定的に受けられるよう、医師、看護師など医療職員の確保・充実を図る。 【事業概要】 医師については、大学医局へ派遣の要請を行うとともに、医学生向け就職説明会へ参加し当院のPRを行う。看護師・助産師については、専門学校や大学に対して求人活動を行うとともに、各就職説明会でのPRを行う。また、市民病院への就職を早くから希望する学生には看護修学資金を貸与し修学支援をするとともに、すべての職種の病院見学を随時実施する。 医療職員の技術・知識向上のため、学会等への参加や医療図書の購入支援等を行う。					
	事業期間	令和5年度～令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	● 医療職員の確保・充実に係る取組 - 医師 医学生向けの就職説明会に参加 HPや各種医療雑誌等に病院や研修環境を紹介する記事を掲載、病院見学の開催 - 看護職員等 各学校での説明会や看護学生向けの合同就職説明会に参加 看護修学資金の貸与 病院見学、病院看護師との交流会、病院体験の実施 ● 医療職員の技術・知識向上のための取組 学会参加や医療図書購入の支援					
事業費	事業費		7年度(予算)	6年度(決算)	5年度(決算)	4年度(決算)
			102,340千円	105,950千円	95,755千円	86,262千円
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源		102,340千円	105,950千円	95,755千円	86,262千円

6年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) ●医療職員の確保・充実に係る取組 医師 HP や各種医療雑誌等に病院や研修環境を紹介する記事を掲載、病院見学の実施 看護職員等 各学校での説明会や看護学生向けの合同就職説明会に参加 看護修学資金の貸与(新規貸与34人) 病院見学、病院看護師との交流会の実施 カムバック採用を導入(4人) ●医療職員の技術・知識向上のための取組 学会参加 医師 364件 医療技師・看護師 150件 図書購入 191冊					
成果指標	指標名		目標値(年度)	6年度	5年度	4年度
	医師・研修医人数 (翌年度4月1日現在)		154(8年度)	171	161	153
	看護職員人数 (翌年度4月1日現在)		594(8年度)	590	577	582
これまでの 取組みによる効果 (進捗状況)	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	判断理由 医師については、調整が困難であるものの、大学医局からの派遣などにより令和4年度から6年度までに18人増となり、目標を大きく上回るものとなっている。 看護職員については、一時的な退職増により令和5年度までは職員数が減少したものの、就職説明会や各大学での説明会に参加することにより、第3次中期経営計画における令和9年4月1日時点の目標人数を達成する見込みである。 課題 働き方改革の推進においても医師の増員は必要となるが、目標を上回る増員については、職員給与費の増加が高度専門医療の需要に伴う人口増とバランスが取れているかを検討する必要がある。			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) ・医師については、必要に応じ大学医局への派遣要請を行う。 ・看護師等については、採用計画に基づき採用を進めていく。 ・医療職員が研鑽を積むことができるよう学会への参加などの支援を継続して進めていく。					
7年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	就職説明会、病院見学会、HPでのPRなど、医療職員を確保するための取組を継続して実施する。 学会への参加支援、医学図書の購入など技術・知識向上のための支援を継続する。 主に、研修医が学ぶ場であるスキルスラボを効果的に活用する。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和7年度		整理番号	2-1-2-4																																															
事業名	救急医療体制				最終更新日	令和7年6月2日																																															
実施根拠	春日井市民病院事業の設置等に関する条例				担当課	医事課																																															
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関	春日井市民病院事業評価委員会																																																	
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—																																															
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保																																																			
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。																																																			
目的・ 事業概要	【目的】 地域の基幹病院として、市民がいつでも必要な医療を受けられるよう、高度で緊急性の高い専門的な救急医療を提供する救命救急センターの運営を継続する。																																																				
	【事業概要】 救命救急センターと休日・平日夜間急病診療所が隣接して設置されていることから、初期治療にあたる1次救急（休日・平日夜間急病診療所）と高度医療を担う2次及び3次救急（救命救急センター）の医療機能及び役割分担を啓発するとともに、救急医療を必要とする患者を受け入れる体制の維持及び充実を図る。																																																				
	事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度																																																			
過去の経緯、 主な実績等	総合保健医療センターの開設に伴い、平成26年2月に救急部門を総合保健医療センター棟へ移設し、救急病床6床を設置した。 24時間体制で高度医療を総合的に提供する施設として、平成27年10月に、愛知県より救命救急センターの指定を受けている。																																																				
	【実績】 <table><tr><td>令和元年度</td><td></td><td>令和2年度</td><td></td></tr><tr><td>救急受入件数</td><td>30,586件</td><td>救急受入件数</td><td>22,656件</td></tr><tr><td>救急搬送受入件数（内数）</td><td>9,721件</td><td>救急搬送受入件数（内数）</td><td>8,350件</td></tr><tr><td>入院件数（内数）</td><td>6,045件</td><td>入院件数（内数）</td><td>4,941件</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>令和4年度</td><td></td></tr><tr><td>救急受入件数</td><td>25,872件</td><td>救急受入件数</td><td>27,574件</td></tr><tr><td>救急搬送受入件数（内数）</td><td>9,438件</td><td>救急搬送受入件数（内数）</td><td>9,410件</td></tr><tr><td>入院件数（内数）</td><td>5,133件</td><td>入院件数（内数）</td><td>5,121件</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td></td><td>令和6年度</td><td></td></tr><tr><td>救急受入件数</td><td>27,532件</td><td>救急受入件数</td><td>25,029件</td></tr><tr><td>救急搬送受入件数（内数）</td><td>11,029件</td><td>救急搬送受入件数（内数）</td><td>9,616件</td></tr><tr><td>入院件数（内数）</td><td>5,781件</td><td>入院件数（内数）</td><td>5,555件</td></tr></table>						令和元年度		令和2年度		救急受入件数	30,586件	救急受入件数	22,656件	救急搬送受入件数（内数）	9,721件	救急搬送受入件数（内数）	8,350件	入院件数（内数）	6,045件	入院件数（内数）	4,941件	令和3年度		令和4年度		救急受入件数	25,872件	救急受入件数	27,574件	救急搬送受入件数（内数）	9,438件	救急搬送受入件数（内数）	9,410件	入院件数（内数）	5,133件	入院件数（内数）	5,121件	令和5年度		令和6年度		救急受入件数	27,532件	救急受入件数	25,029件	救急搬送受入件数（内数）	11,029件	救急搬送受入件数（内数）	9,616件	入院件数（内数）	5,781件	入院件数（内数）
令和元年度		令和2年度																																																			
救急受入件数	30,586件	救急受入件数	22,656件																																																		
救急搬送受入件数（内数）	9,721件	救急搬送受入件数（内数）	8,350件																																																		
入院件数（内数）	6,045件	入院件数（内数）	4,941件																																																		
令和3年度		令和4年度																																																			
救急受入件数	25,872件	救急受入件数	27,574件																																																		
救急搬送受入件数（内数）	9,438件	救急搬送受入件数（内数）	9,410件																																																		
入院件数（内数）	5,133件	入院件数（内数）	5,121件																																																		
令和5年度		令和6年度																																																			
救急受入件数	27,532件	救急受入件数	25,029件																																																		
救急搬送受入件数（内数）	11,029件	救急搬送受入件数（内数）	9,616件																																																		
入院件数（内数）	5,781件	入院件数（内数）	5,555件																																																		
事業費	事業費		7年度(予算)	6年度(決算)	5年度(決算)	4年度(決算)																																															
			1,101,560千円	958,433千円	920,267千円	904,246千円																																															
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																															
		その他	790,243千円	835,648千円	807,426千円	771,926千円																																															
	一般財源		311,317千円	122,785千円	112,841千円	132,320千円																																															

6年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	令和6年度の具体的な取組み 救命救急センターとして「断らない救急」と「三次救急としての適正受診」のため、選定療養費の徴収など引き続き医療機能による役割分担を推進した。また、効果的な院内啓発により、看護師がウォークイン患者に対し行うトリアージの実施率を大幅に伸ばし、救急医療を必要としている患者へ優先的に医療を提供する体制を向上させた。 このほか、一部の検査や採血、点滴などの行為を医師以外の医療職にタスクシフトする運用を開始し、医師の負担軽減に寄与するとともに、救命救急センターの利用者に対する診療の効率化を図った。					
成果指標	指標名		目標値（年度）	6年度	5年度	4年度
	救命救急センターの 充実段階評価		A評価	A評価	A評価	A評価
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	厚生労働省による救命救急センターの充実段階評価のA評価を継続することができている。 平成30年度は、救命救急センター配置の医師が、日本救急医学会救急科専門医の資格を取得し、医療スタッフの充実を図った。 【課題】 ・市民等に対し、引き続き救急外来の適正受診についての啓発を実施していく必要がある。 ・救命救急センターについては、厚生労働省が定める「救命救急センターの充実段階評価」に従って、高度で専門的な医療を即時に提供できるよう体制の維持及び充実を図る必要がある。 ・消防本部救急隊員に対し、患者収容から病院への搬送までの救急活動の質の向上を目指し、就業時教育指導を行っていく必要がある。			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等)					
	市民病院が三次救急医療機関としてその機能を継続していくために、救命救急センターの適正利用について啓発を図る（選定療養費、HP等での周知、熱中症予防啓発ポスターの院内掲示等）。 当該地域の救急医療を充実させるため、病院到着前の救急活動に対する助言やMC協議会での技術指導等により処置拡大や事後検証の充実を図るなど、消防機関（救急救命士）の知識及び技能の向上に寄与する。 救命救急センターの利用者について、ウォークイン患者へのトリアージを推進し、一刻を争う救急現場において、必要な患者へ早急な治療を提供する。 救急搬送患者にかかる応需率について、救急医療対策委員会において状況を管理し「断らない救急」を実現するために、患者を受けられなかった事例の検討及び断らないための協議を実施する。					
7年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	救命救急センターとして高度救急医療を行う。 休日・平日夜間急病診療所と連携し、円滑な運用を図る。 院内で実施する講習会等により医療スタッフの人材育成に努めるとともに、救急医療に関連の深い消防職員へ救急救命士の各種実習（救急救命士就業前研修、救急勉強会、救急活動事後検証、気管挿管病院実習等）を実施し、院内外における救急医療の知識・技術等の向上を図る。 ウォークイン患者にかかる適切なトリアージを実施し、早急な治療に結びつける。 タスクシフトを進め、救命救急センターの効率的な運用を推進する。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和7年度	整理番号	2-1-2-5	
事業名	地域医療連携			最終更新日	令和7年6月2日	
実施根拠	・春日井市病院事業の設置等に関する条例 ・春日井市行政組織規則			担当課	医療連携室	
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関	春日井市民病院事業評価委員会		
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・医療			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 地域の基幹病院として、急性期医療及び高度専門医療を担うとともに、地域における医療水準の向上に努める。また、地域の医療機関や介護サービス事業者との連携の強化を進め、患者を地域全体で治し、支える、地域完結型医療サービスの提供を推進します。 【事業概要】 医療機関の訪問や会議において、医師や医療従事者同士が顔を合わせて当院の医療機能をPRし、相互の状況や役割に対する理解を深めるとともに、信頼関係の向上に努める。 また、地域の医療従事者向けの各種研修会の実施や医療機器共同利用等を促進し、地域の医療技術の研鑽や病診連携の強化に努める。					
	事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	地域における第一線の医療機関として位置付けられるかかりつけ医やかかりつけ歯科医を支援し、二次医療圏単位で地域医療の充実を図る病院として、平成24年9月に地域医療支援病院として承認された。 (地域医療支援病院の承認要件) 1 次のいずれかに該当 ①紹介率が80%以上 ②紹介率が65%以上かつ逆紹介率が40%以上 ③紹介率が50%以上かつ逆紹介率が70%以上 2 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること など					
事業費	事業費		7年度(予算)	6年度(決算)	5年度(決算)	4年度(決算)
			1,850千円	1,230千円	1,265千円	688千円
	特定財源	国・県支出金	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源		1,850千円	1,230千円	1,265千円	688千円

6年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	1 紹介率 90.64%、逆紹介率 124.45% (令和5年度 紹介率 87.29%、逆紹介率 109.32%)					
	2 紹介受入患者数 36,671 人(令和5年度 35,417 人)					
	3 「顔の見える医療連携」の会 1 回開催 参加医師(当院 45 名、診療所 85 名) (令和5年度 1 回開催 参加医師(当院 46 名、診療所 74 名))					
	4 地域の医療・介護従事者を対象にした研修会 30 回開催(令和5年度 17 回開催)					
	5 春日井市民病院医療連携協議会 4 回開催(令和5年度 4 回開催)					
	6 春日井市医療連携業務検討会 2 回開催(令和5年度 2 回開催)					
	7 春日井市民病院訪問看護懇話会 15 回開催(うち、オンライン開催 13 回) (令和5年度 オンライン開催 14 回)					
	8 診療所訪問 延べ100 件(令和5年度 延べ117 件)					
	9 Tri-net かすがい導入医療機関数 110 機関(予約件数 3,014 件) (令和5年度 103 機関(予約件数 2,934 件))					
成果指標	指標名		目標値(年度)	6 年度	5 年度	4 年度
	紹介率		92.0%(令和7 年度)	90.64	87.29	74.66
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	これまでの実施した事業の成果により、地域医療支援病院の承認要件を大幅に上回る紹介率の実績を得ることができている。 引き続き、地域の医療機関と良好な関係を続け、地域完結型医療サービスの提供を推進していく。			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 当院の医療機能や新たな取り組み(ロボット手術、ペインクリニック、心臓病センター)の魅力をPRしながら地域の医療機関との良好な信頼関係を維持し、紹介率及び逆紹介率の向上や、当院入院患者の円滑な転院が可能な連携体制の構築を図っていく。					
7 年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続					